

教員向け体験活動研修会～学校教育に生かすために～

1 趣旨

学校教員や保育士などの子供の育成に関わる指導者が人間関係づくりプログラムや自然散策などの野外活動を体験することを通して、それぞれの活動の意義を考えるとともに、安全面や環境保全など多様な観点に基づく指導上の留意点を学ぶ。

2 事業の概要

(1)期間

令和5年8月17日(木)・8月18日(金) <1泊2日>

(2)会場

国立三瓶青少年交流の家

(3)対象

幼稚園、小学校、中学校、高等学校、義務教育学校及び特別支援学校の教諭、養護教諭、常勤講師等、保育所の保育士

(4)参加者(募集25人程度)

18人(うち島根県教員採用2年目フォローアップ研修対象者10人)

※保育士1人、小学校教諭11人、中学校教諭4人、特別支援学校教諭2人。

(5)後援

島根県教育委員会

(6)日程・研修内容

	9:00	9:30	10:00	12:00	13:00	15:00	17:10	18:30	19:00	21:00	22:30	
8/17 (木)	受付・入所	オリエンテーション 開会行事	SAP① ～人間関係づくり プログラム～ ☆アイスブレイクや コミュニケーションの活動	昼食	SAP② ～人間関係づくり プログラム～ ☆課題解決の活動 ☆SAPで大切にしていること	宿泊研修 振り返り 相談タイム	休憩・夕食 タへのつと	ファイヤーストーム 準備	ファイヤー ストーム体験	情報交換会	入浴・就寝準備	就寝
								【雨天時】 キャンドルの つと	キャンドルの つと体験	情報交換会		
8/18 (金)	起床	朝のつと ・清掃	朝食・身辺整理	退所点検	ファイヤー ストーム片付け	野外活動に親しむ その① ～野外炊飯のスキル～ ☆薪への着火実習 ☆野外炊飯と安全管理	野外活動に親しむ その② ～自然散策～ ※少雨実施 ☆自然と親しむアクティ ビティ体験 ☆自然散策時の安全管理	屋食・休憩	振り返り	閉会行事	解散	
							【荒天時】 もっと! 人間関係づくり プログラム体験					

※初日夜は雨天時プログラムを実施した。

3 事業の特色

本事業は、教員免許状更新講習の廃止後も教員が体験活動について学ぶ研修の機会を保障したいという思いで、昨年度から実施しているものである。今年度は、人間関係づくりプログラムや自然散策などの野外活動をテーマとして、参加教員らがそれぞれの活動の意義を考えるとともに、安全面や環境保全など多様な観点に基づく指導上の留意点を学べるようにしたいと考え、以下の点に配慮し、企画した。

## (1) プログラムデザインと企画のポイント

### ① 参加者ニーズと主催者の願いを踏まえたゆとりのある日程の設定

昨年度の参加者からの要望に、「人間関係づくりプログラム SAP (Sanbe Adventure Program) をもう少したくさん体験したかった。」とあった。そこで、SAP の時間を午前と午後の 2 回に分けて多めに設定することで、研修中の生活を共にする参加同士の間人間関係を深めながら、参加者がプログラムの魅力を存分に実感できるようにした。

また、主催者としては、参加者に、野外活動の中でも特に野外炊飯に関わる活動と自然散策を体験してほしいと考えた。実際にカレーライスなどを調理するときは半日分の時間を確保する必要があるが、本事業では、薪への着火実習だけにとどめ、自然散策を体験する時間も十分に確保できるようにした。

### ② 体験者視点で活動する時間と指導者視点で協議する時間の明確化

参加者には、まず体験者の視点で活動に取り組み、活動後の振り返りの時間には指導者視点で活動の教育的価値や指導上の留意点について協議することを告げた。また、ワークシートを活動前にあらかじめ配布しておくことにより、活動中に適宜、気付きや考えたことを記録できるようにした。そして、初日午後の SAP ②と、二日目の午後に振り返りの時間を設定することにより、参加者が目的意識をもって研修に臨むことができるようにした。

### ③ 日々の教育実践に生かせる研修成果物(おみやげ)の配布

職場で必要に応じて見返すなど、日々の教育実践に役立てることができるようにするため、参加者が感じたこと、考えたこと、協議したことなどを記録したワークシートを研修成果物(おみやげ)として参加者に持ち帰っていただきたいと考えた。そこで、参加者に事前に意図を伝えて承諾を得た上で、名前を表示しない形でワークシートをコピーして冊子にまとめ、配布した。

## (2) 運営のポイント

### ① 班編成の工夫

参加者同士の活発な対話が生まれ、学びを深めることができるようにするため、勤務校種、地域、経験年数を考慮した活動班を編成した。

### ② 職員の役割分担

SAP では、職員を二人体制にし、ファシリテーター役と参加者の観察役を交互に担当して協議しながら、より参加者の実態に応じたアクティビティを実施できるようにした。

また、夜の活動(ファイヤーストームを予定していたが、今回は天候が悪くキャンドルのつどいを実施した。)や、自然散策については、この分野についての豊富な経験と知識をもつ職員に進行を依頼し、職員のもつ強みを生かすことで研修内容の充実を図った。

### ③ 情報交換会の設定

この数年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、集合形式の教職員初任者研修が実施できなかったため、同期採用の教職員同士の交流の機会がほとんどない状況だった。そこで、日中の研修にとどまらず、勤務校種等の枠を越えて広く日々の業務に関する相談など、参加者同士の交流を通じた横のつながりを促進したいと考え、情報交換会を設定した。

また、入浴時間をキャンドルのつどいの後に設定し、入浴後に情報交換会を実施することにより、情報交換会の時間を少しでも長くできるようにした。

## (3) 広報のポイント

### ① 島根県の教職員研修への登録

昨年同様に島根県教育センターと連携し、島根県内の採用 2 年目の教員対象のフォローアップ研修に登録することにより、県内の教職員の目に触れる機会が少しでも多くなるようにした。

### ② 広島県 4 市町への広報

今年度は、広島県にも広報範囲を拡大し、特に本所利用団体が多い広島県の安芸高田市と庄原市、また、近隣である北広島町、三次市の 4 市町教育委員会に対して各学校等にメールで情報提供してもらえるように協力を依頼した。

### ③ 幼稚園・保育所等への広報

今年度は、幼稚園教諭や保育士も募集対象に加え、大田市と出雲市の幼稚園・保育所等にも広報することとした。そこで、大田市健康福祉部子ども保育課及び出雲市子ども未来部保育幼稚園課に対して、各園への情報提供を依頼した。

#### 4 参加者へのアンケート結果

##### (1)アンケートの集計

(%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	94	6	0	0
プログラム	100	0	0	0
運営	94	6	0	0
職員の対応	94	6	0	0

##### (2)参加者の声

###### 体験による気づきや学び

- 2学期からすぐに取り組みたいことがたくさんあり、今からわくわくしています。
- 自分が児童の立場になってみないと分からないことがたくさんあり、今後の授業づくり、学級経営の支えになりました。
- 体験者と指導者の両方の視点で考えられて良かったです。
- 指導者と子ども、両方の立場がどのように考えるのか予想を立てることができました。
- 子どもたちへの実践を多くの先生と考えることができて良かったです。
- 「同じ釜の飯を食う」という体験を大人もすることの大切さを改めて感じました。

###### 参加者交流に関するもの

- 新しい人との関わりが楽しかったです。
- 異校種の先生と様々な体験や情報交換ができてよかったです。
- 石見地区の先生とも交流する機会ができて良かったです。
- 教員同士のつながりがこれまでほとんどなく、つながりの場となりました。

#### 5 成果と課題

##### 《成果》

- プログラム内容の満足度は100%であり、参加教員らのニーズにあった研修会にすることができた。
- 上記の参加者の声からも分かるように、体験者として体験に浸る時間と、指導者視点で協議する時間を明確に分けてプログラムをデザインすることにより、参加教員らが体験活動の魅力を体感するとともに、安全や環境保全など多様な観点に基づく指導上の留意点についての理解を深めたり、自然体験について子供に育みたい心情や力といった観点から教育的価値を見いだしたりすることができた。
- 今回、保育所や幼稚園等にも研修会開催の案内をしたところ、保育士が参加した。このことにより、幼児から初等中等教育段階の児童生徒まで、多様な発達段階の子供の教育に関わる教員らの交流、情報交換の幅を広げることができた。そして、上記の参加者の声にもあるように、本研修会を実施することにより、勤務校の所在地区や校種を越えた参加者同士の横のつながりづくりに寄与することができた。
- 今回の教員向け体験活動研修会の実施に当たり、特にSAPについて本所にある資料を整理し、プログラムの基盤となる理論やアクティビティ例を紹介する冊子にまとめることにより、今後、日帰りでSAPを企画するときも役に立つ資料を準備することができた。

##### 《課題》

- 今後は、より一層、島根県外の学校や幼稚園の教員等、保育所等の保育施設職員の参加を増やし、参加者同士の交流と情報交換の幅を広げられるようにしたい。そこで、広島県の学校等への広報については、今回広報の対象とした4市町に加え、本所利用の学校団体が多い広島市の教育委員会にも情報提供の協力依頼をしたい。また、本所は、本年7月に隣接する大田市、美郷町、飯南町の3市町との連携協定を締結している。そこで、保育施設への広報に当たっては、美郷町や飯南町にも範囲を拡大したい。



SAPの様子①



SAPの様子②



SAPについての指導者視点での  
振り返りの様子



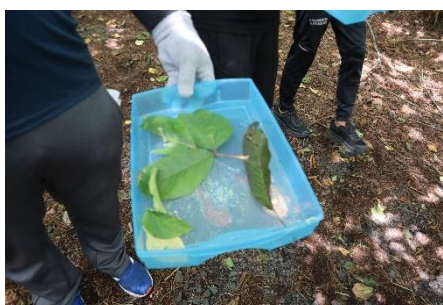
キャンドルのつどいの様子



着火実習の様子



野外炊飯活動実施時の安全管理  
に関する協議の様子



自然と親しむアクティビティ  
体験の様子①



自然と親しむアクティビティ  
体験の様子②



野外活動の教育的価値や指導上の  
留意点についての協議の様子



事業参加者

(担当：企画指導専門職 向原 将平)